

日本リハビリテーション医学会 平成 23 年度第 4 回理事会 議事録

日 時：平成 23 年 9 月 17 日(土) 12 時～16 時 15 分

場 所：都市センターホテル 5F スバル

構成員：理事 16 名，監事 2 名

出席者

理事長／里宇明元

常任理事／赤居正美・上月正博・水間正澄・吉永勝訓

理 事／朝貝芳美・浅見豊子・生駒一憲・出江紳一

川平和美・佐浦隆一・菅 俊光・椿原彰夫

正門由久・水落和也

監 事／住田幹男・木村彰男

専門医会幹事長／菊地尚久

第 49 回学術集会幹事／佐伯 覚

議 題

I. 報 告

1) 常任理事会報告

里宇理事長から，平成 23 年度第 4 回常任理事会の報告があった。

2) 会員現況報告について

赤居常任理事から，会員現況について報告があった。

3) 第 49 回学術集会の準備状況について

佐伯第 49 回学術集会幹事から，準備状況について報告があった。

II. 重要審議事項

1) 代議員選挙・次期役員選挙について

上月常任理事から，8 月 16 日内閣府公益認定等委員会事務局に相談した結果について次の報告があった。

医師以外の会員を別枠で全国枠を設け，8 ブロックの選挙と並行して行うことは問題ない。また，代議員選挙に関する規則第 14 条第 3 項の投票を行うことなく候補者を当選人にする規定は，投票を行うことなく候補者を選出することのないように修正か削除するよう指導を受けた旨の説明があり，審議の結果，医師以外の会員を別枠にして代議員を選出することは，今回は実施しないこととし，次回に向けて検討することとした。代議員規則第 14 条第 3 項

の規定については，来年の代議員総会で規則改正を行うこととし，今回の代議員選挙は，全ての地区で投票による選挙を実施することが承認されたが，次回以降の選挙における具体的実施方法については，今後，検討することとした。

引き続き，4 月 1 日の認定時の役員の登記について説明があり，審議の結果，現役員で登記することが，承認された。また，代議員選挙終了後の新役員選挙の実施時期について説明があり，審議の結果，これまで代議員選挙に係る会員への周知が 2 月上旬となっていること等，一連の流れから，平成 24 年 1 月 28 日に実施することが，承認された。

なお，1 月 28 日の新役員の選任は，内閣府の指導に基づき実施することとし，選任される新役員には役員会等にオブザーバーで出席できるよう検討することとした。

関連して，吉永常任理事から，第 1 回選挙管理委員会報告に併せ，12 月 3 日(土)を代議員選挙開票日に決定し，当選人への通知及び速やかに会員に選挙結果を告知することとなった旨の報告があった。また，1 月 28 日の役員選挙の当日に理事長及び副理事長の選出を行うことについて諮られ，審議の結果，役員選挙終了後，引き続き実施することが承認された。

2) 50 周年記念事業の予算について

里宇理事長から，「日本リハビリテーション医学会設立 50 周年記念事業へのご支援・ご協力をお願い」の趣意書に関連して，2011～2015 年までの今後 5 年間の 50 周年事業に係る事業内容・予算計画及び事業の進捗状況について説明があり，審議の結果，今後この事業計画に基づき，この方向で事業を進めていくことが，承認された。

また，企業から賛同いただける提案書，共催・協賛及び後援のリスト，設立 50 周年記念式典・50 周年学術集会への海外招聘候補者リスト及びシンポジウム・セミナーのテーマ例（共催・協賛の観点から）について報告説明があった。

関連して，住田，木村の両監事から，50 周年事

業の事業計画に係わる予算措置が明確になった旨の説明があった。今後、国際化の問題（若手会員の海外との交流に併せ諸団体との交流）も進めるよう助言があった。

Ⅲ. 審議事項

1) 平成 23 年度後期各種委員会委員の委嘱・解職について

里宇理事長から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。関連して、赤居常任理事から、推薦があっても各委員会で欠員または補充がない場合、委嘱できない委員候補者を次期の委員候補者として留保することとした旨の提案があり、審議の結果、承認された。

2) 専門医制評価・認定機構関係

里宇理事長から、専門医制評価・認定機構が実施する平成 23 年度専門医研修施設訪問調査のためのチーフサーベイヤー及びサーベイヤーについて、本医学会からの候補者(案)の提案があり、審議の結果、原案どおり承認された。関連して、菊地専門医会幹事長から、平成 22 年度研修施設サイトビジット報告があった。

3) データマネジメント事業経費について

赤居常任理事から、平成 22 年度未払い分の支出について説明があり、審議の結果、23 年度予算から支出することが、承認された。また、データマネジメント事業の今後の予算状況として、菊地尚久先生が採択された厚生労働省科学研究費補助金からの今後の執行の進め方について、旭化成ファーマとの研究実施に向けての進捗状況及び三士会との共通症例データベース構築の今後の進め方について、報告があった。

4) 公益法人への移行申請について

里宇理事長から、公益法人への移行申請を当初の予定どおり 10 月上旬に行う準備を進めており、申請後、内閣府から小さな修正等即対応を要する事務処理は理事長に一任願いたい旨説明があり、承認された。

5) 専門医制度対応ワーキング関係

上月常任理事から、第 1 回専門医制度対応ワーキング報告として、「専門医制度整備指針について」の説明に併せて、①リハビリテーション科指導責任者について、②「指導医」の定義について、③研修

施設について検討を行った旨の報告があった。なお、試験問題委員会の業務全体を拡大し、試験委員会を設置することについて説明があり、ワーキンググループとして今年度中にたたき台を役員会に提案したい旨、説明があった。

関連して、専門医制度整備指針に対する対応について、指針の各項目に対する対応状況の説明があった。

6) 大規模災害対応マニュアル作成について

里宇理事長から、10 団体合同で大規模災害対応合同マニュアル策定ワーキンググループ会議が設置された。また、10 団体の今後の見通しとして、派遣は 9 月末で終了する。ただし、平成 24 年 3 月末日まで支援要請に対応できる体制を整えておく旨の報告があった。

なお、マニュアル作成にあたり全体のレビューやエビデンスに関する部分の執筆を検討する「大規模災害リハビリテーション対応マニュアル策定委員会」を上月正博（委員長）、住田幹男、佐浦隆一、菅 俊光、木村慎二、曾川裕一郎、佐直信彦、榎本修、富山陽介、高橋 明の各先生を委員に委嘱したい旨提案があり、審議の結果、承認された。

7) 会員の入退会について

赤居常任理事から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

8) 医師以外の正会員入会について

椿原理事から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

9) 社会保険等委員会関係

吉永理事から、1) 厚生労働省担当者によるヒアリングの報告、2) リハ医療関連 5 団体会議の報告、3) 社会保険等委員会の報告があった。

また、平成 24 年度診療報酬改定要望書について説明があった。関連して、5 団体との対応について、今後、理事会等と相談しながら進めていく旨の発言があった。

10) 平成 23 年度専門医試験特別委員候補(案)について

浅見理事から説明があり、審議の結果、今回は本リストの候補を承認することとした。また、今後、特別委員を委嘱するにあたり、受験者の増減に伴う特別委員の人数の問題、予算があるので特別委員を増員する問題及び特別委員の年齢制限等について今後検討していくこととした。

11) 研修施設の新規認定について

浅見理事から説明があり、審議の結果、原案どおり 2 施設の認定が承認された。

12) 研修施設の資格喪失について

浅見理事から説明があり、審議の結果、原案どおり 1 施設の資格喪失が承認された。

13) 指導責任者の新規認定について

浅見理事から説明があり、審議の結果、原案どおり 5 名の新規認定が承認された。

14) 病態別実践リハ医学研修会（骨関節障害）修了試験結果(案)について

正門理事から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

15) 細則 (2)-e 項目による生涯教育研修単位の申請について

正門理事から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

16) 細則 (2)-f 項目による生涯教育研修単位の申請について

正門理事から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

17) 一般医家に役立つリハ医療研修会について

正門理事から説明があり、審議の結果、開催時期が東日本大震災の発生日であることから、参加者への配慮し開催日程を再検討することが、承認された。

関連して、出江理事から細則 (2)-g 項目及び細則 (2)-f 項目について学会誌掲載時期の短縮が出来ないか発言があり、教育委員会、事務局で検討することとした。

18) リハ医学ガイド無料配布について

正門理事から、リハ医学ガイドを卒前教育等に使う場合、無料配布したい旨の提案があり、審議の結果、外部資金等を活用して作成する方向で教育委員会・広報委員会で問題点を検討することが、承認された。

19) DVD 販売状況について

正門理事から販売状況について報告があった。

20) 電子カルテリハ機能評価（回復期リハ病棟用）ア

ンケート調査の実施について

菊地専門医会幹事長から説明があり、審議の結果、アンケート調査を実施することが承認された。

21) その他

①後援・協賛について

赤居常任理事から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

Ⅳ. 報告事項

1) 各種委員会報告

平成 23 年 7 月 22 日から平成 23 年 9 月 2 日までの間に開催された各種委員会について、次の通り各担当理事から報告が行われた。

① 編集委員会	川平理事
② 教育委員会	正門理事
③ 認定委員会	浅見理事
④ 試験問題委員会	出江理事
⑤ 診療ガイドライン委員会	生駒理事

2) 専門医会報告

浅見理事から、ホームページに「リハビリテーション科女性専門医ネットワーク」を構築したのでご覧いただきたい。また、12 月開催の専門医会学術集会で RJN の会を開催すること。2015 年からスタート予定の日本専門医機構の専門医認定制度を理解するため、専門医制評価・認定機構の池田理事長を講師に迎えてお話しいただくことになっているので、専門医学術集會に参加いただきたい旨の報告があった。

3) 細則 (2)-g 項目による生涯教育研修単位の申請について

正門理事から報告があった。

4) AOSPRM 報告（中国武漢開催）

赤居常任理事から、AOSPRM の 2012 年（次回）開催地はバリ島で行うことが決まった。なお、ISPRM は 2014 年からアメリカ地域、ヨーロッパ地域、アジアオセアニア地域の 3 地域で、毎年 1 回開催することとなった旨報告があった。

以 上

日本リハビリテーション医学会 平成 23 年度第 5 回理事会 議事録

日 時：平成 23 年 11 月 26 日(土) 12 時～17 時

場 所：都市センターホテル 7F 701

構成員：理事 16 名，監事 2 名

出席者

理事長／里宇明元

常任理事／赤居正美・上月正博・水間正澄・吉永勝訓

理 事／朝貝芳美・浅見豊子・生駒一憲・出江紳一

川平和美・菅 俊光・正門由久・水落和也

監 事／住田幹男・木村彰男

専門医会幹事長／菊地尚久

第 49 回学術集会幹事／佐伯 覚

里宇理事長が議長となり，挨拶の後，議事に入った。

議 題

I. 報 告

1) 常任理事会報告

里宇理事長から，平成 23 年度第 5 回常任理事会の報告があった。

2) 会員現況報告について

赤居常任理事から，会員現況について報告があった。

3) 東日本大震災対応関係

里宇理事長から，1. 東日本大震災リハビリテーション関連支援 10 団体の活動実績の概要が示され，詳細な活動報告は作成中であること，2. 大規模災害リハビリテーション対応マニュアルは，2012 年 3～4 月に出版予定であること，3. ISPRM Disaster Relief Symposium でのスライドが Website で公開中であること，4. 10 団体としての活動内容について，J Rehabil Med 誌への投稿を準備中であることが報告された。

II. 重要審議事項

1) 平成 23 年度中間収支決算について

上月常任理事から説明があり，審議の結果，承認された。

2) 新役員選挙について

吉永常任理事から，以下の項目に関する提案説明あり，審議のうえ，具体的な実施方法に係わる理事会案を策定した。

(1) 1 月 28 日代議員総会における役員選挙の不在者

投票(案)について

(2) 1 月 28 日における役員選挙の実施方法について

III. 審議事項

1) 第 49 回学術集会予算書(案)について

佐伯第 49 回学術集会幹事から，準備状況の報告に併せ第 49 回学術集会予算書(案)について説明があり，審議の結果，承認された。

2) 50 周年記念事業関係

里宇理事長から資料に基づき，設立 50 周年記念事業共催・協賛企画募集（第一次募集），設立 50 周年記念事業年次計画及び予算，企業等の協力を得られ易いと想定されるテーマの例及び設立 50 周年記念事業企画案フォーマットについて説明があり，共催・協賛企画募集の第 1 次募集の締切が 12 月 16 日で，現在提案されている企画を次回の役員会前に実行委員会で検討し，24 年度事業計画に盛り込む旨の提案があり，審議の結果，承認された。

3) 平成 24 年 1 月開催の代議員総会及び理事会日程(案)について

赤居常任理事から説明があり，審議の結果，原案どおり承認された。

4) 役員の選任に関する内規(案)について

吉永常任理事会から説明があり，審議の結果，第 2 条第 1 項「選挙権（投票可能な者）は正会員に限る。」を「選挙権（投票可能な者）は社員に限る。」に修正，同条第 2 項「被選挙権（立候補可能な者）は，66 歳未満の正会員に限る。」を「被選挙権（立候補可能な者）は，正会員に限る。」に修正のうえ，会則検討委員会に再検討を依頼することで，承認された。

5) 新役員選任後の役員の参画について

赤居常任理事から，新役員選任後正式決定までの期間，役員会にオブザーバーで出席いただく旨の提案があり，審議の結果，原案どおり承認された。

6) 受託研究取扱に関する規則(案)について

赤居常任理事から，会則検討委員会での規則案の検討結果が説明され，第 5 条（研究経費）については本医学会の実情に鑑み，削除する方向で会則検討委員会に確認することとした。また，併せて受託研

究契約書(案)及び旭化成ファーマとの受託研究契約書(案)の説明があり、審議の結果、契約書案のとおり、契約を締結することが、承認された。

7) データマネジメント関係

赤居常任理事から、第1回共通症例データベース構築合同委員会の主な審議事項として、参加各団体の負担金についての提案及び今後の進め方について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

8) システム委員会特別委員の委嘱について

菅理事から、特別委員に第49回学術集会実行委員会委員長の松嶋康之先生を委嘱したい旨の提案があり、審議の結果、承認された。

9) 専門医会特別委員の委嘱について

菊地専門医会幹事長から、特別委員の東北地区水尻強志先生、近畿地区中馬孝容先生及びリハ医療に必要な電子カルテ機能に関するWGの特別委員菅原英和先生の再任について提案があり、審議の結果、承認された。

10) 専門医制度対応ワーキンググループ(WG)関係

上月常任理事から、第2回及び第3回専門医制度対応WG報告に併せ、11月2日のWGで議論された「試験委員会」、「施設認定委員会」、「専門医制度委員会」の委員会設置等について説明があり、審議の結果、学会全体の組織の問題等と併せて事業計画に盛り込み、重要課題として検討することが、承認された。

11) 医師以外の正会員入会について

赤居常任理事から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

12) 会員の入退会について

赤居常任理事から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

13) 社会保険等委員会関係

吉永理事から、内科系学会社会保険連合、リハビリテーション医療関連5団体会議、社会保険等委員会報告及びリハビリテーション医療関連5団体から提出された厚労省医事課長あての2012年度診療報酬改定要望について、説明があった。

関連して、水間常任理事から、社団法人日本理学療法士協会が実施している「リハビリテーションにおける医師の指示実態調査2011～ご協力のお願い～」について」の説明があり、審議の結果、このような重要な問題は、事前に相談してほしい旨、水間

常任理事から半田会長に伝えることが、承認された。

14) Web版リハ用語事典執筆者への単位付与特別措置について

上月常任理事から説明があり、審議の結果、次回役員会にWebを見ている人の人数を報告していただくことで、承認された。

15) 広域支援センター独自事業調査について

朝貝理事から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

16) 東日本大震災に伴う特別措置について(2012年3月31日更新対象者)

浅見理事から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

17) 専門医・認定臨床医試験に関する情報公開(案)について

浅見理事から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

18) 研修施設更新年次報告による認定要件確認結果(案)について

浅見理事から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

19) 平成24年度単位付与項目(案)について

浅見理事から説明があり、審議の結果、単位付与項目について、本日承認されたWeb版リハ用語事典執筆者への単位付与を追加すること及び各項目の見直しを関連委員会で検討することとし、承認された。

20) 認定臨床医更新免除(案)について

浅見理事から説明があり、審議の結果、専門医認定についても検討すべきとの意見があり、認定委員会で再検討することが、承認された。

21) 研修施設の新規認定について

浅見理事から説明があり、審議の結果、原案どおり9施設の認定が承認された。

22) 指導責任者の新規認定について

浅見理事から説明があり、審議の結果、原案どおり12名の新規認定が承認された。

23) 一般医家に役立つリハ医療研修会について

正門理事から説明があり、審議の結果、研修会の予算措置について議論があり、今回は学会予算で実施し、次回は50周年事業企画で実施することが、承認された。

24) 病態別実践リハ医学研修会（神経系障害）修了試験結果(案)について

正門理事から説明があり，審議の結果，原案どおり承認された。

25) 細則（2）-f 項目による生涯教育研修単位の申請について

正門理事から説明があり，審議の結果，原案どおり承認された。

26) 第3回アジア・オセアニア地区リハビリテーション医学会会議参加特別助成募集について

赤居常任理事から説明があり，審議の結果，原案どおり承認された。

27) その他

①後援・協賛について

赤居常任理事から説明があり，審議の結果，原案どおり承認された。

Ⅳ. 報告事項

1) 各種委員会報告

平成 23 年 7 月 19 日から平成 23 年 11 月 18 日までの間に開催された各種委員会について，次の通り各担当理事から報告が行われた。

- | | |
|---------------|------|
| ① 編集委員会 | 川平理事 |
| ② 評価・用語委員会 | |
| ③ 認定委員会 | 浅見理事 |
| ④ 試験問題委員会 | 出江理事 |
| ⑤ 障害保健福祉委員会 | 朝貝理事 |
| ⑥ 関連機器委員会 | 水落理事 |
| ⑦ 広報委員会 | 菅 理事 |
| ⑧ 国際委員会 | |
| ⑨ 診療ガイドライン委員会 | 生駒理事 |

⑩ システム委員会 菅 理事

2) 専門医会報告

菊地専門医会幹事長から，①平成 23 年度第 2 回リハビリテーション科専門医会幹事会報告，②リハビリテーション科女性専門医ネットワーク委員会（RJN）平成 23 年度第 1 回会議報告，③脊髄障害のリハビリテーション SIG コアメンバー会議報告，④リハビリテーション医学基礎研究 SIG 設立骨子【コアメンバー（世話人）】の委嘱について，⑤ポストポリオ症候群のリハビリテーション SIG 設立骨子【コアメンバー（常任世話人）】の委嘱について，⑥第 8 回日本リハビリテーション医学会専門医会学術集会開催概要及び詳細，⑦メルマガ原稿(案)Web を用いた専門医会 SIG 参加申込について，⑧リハ専門医に必要な手技に関するハンズオンセミナー活動報告について報告があった。なお，④，⑤のコアメンバーの委嘱が承認された。関連して，菅理事から 12 月 10 日，11 日開催の専門医会学術集会プログラムについてアナウンスがあった。

3) 細則（2）-g 項目による生涯教育研修単位の申請について

正門理事から報告があった。

4) その他

①平成 24 年度各委員会・専門医会活動計画並びに予算調書の提出について（依頼）

赤居常任理事から，近日中に依頼する旨報告があった。

②文科省による特例民法法人の業務等の実地検査の実施について

赤居常任理事から報告があった。

以 上

日本リハビリテーション医学会 平成 23 年度第 6 回理事会 議事録

日 時：平成 24 年 1 月 28 日(土) 12 時～16 時 45 分

場 所：東京国際交流館 会議室第 3

構成員：理事 16 名，監事 2 名

出席者

理事長／里宇明元

常任理事／赤居正美・上月正博・水間正澄・吉永勝訓

理 事：朝貝芳美・浅見豊子・生駒一憲・出江紳一

川平和美・才藤栄一・佐浦隆一・菅 俊光

椿原彰夫・正門由久・水落和也

監 事／木村彰男

専門医会幹事長／菊地尚久

第 49 回学術集會会長／蜂須賀研二

議 題

I. 報 告

1) 常任理事会報告

里宇理事長から、平成 23 年度第 6 回、7 回、8 回常任理事会の報告があった。

2) 公益法人審査状況について

里宇理事長から、公益法人認定申請後の審査が順調に進められ、4 月 1 日付で登記が完了する見通しである旨の報告があった。

関連して、定款の一部を変更する必要がある旨の指導があり、今後、検討を進め、5 月の代議員総会に諮ることが報告された。

3) 会員現況報告について

赤居常任理事から、会員現況について報告があった。

II. 重要審議事項

1) 平成 24 年度事業方針(案)について

里宇理事長から、各委員会等の活動課題(案)及び平成 24 年度事業方針(案)について説明があった。事業方針に関連して、危機管理委員会を常置委員会として設置することが提案され、審議の結果、承認された。なお、事業方針の内容等に対する意見を 2 月中に集約し、3 月の理事会で最終決定することが承認された。

2) 新役員選挙について

吉永常任理事から、代議員選挙後の役員選挙の実施方法に関連する検討経緯の説明があり、審議の結果、以下の事項が承認された。

- (1) 代議員（公益法人移行前は代議員予定者）による新役員候補者に関する意向選挙を電磁的方法で実施する。投票時の連記数は、定数以内の任意の数とする。

(2) 役員選任に関する日程について

- 3 月 5 日(月) 電磁的方法による意向選挙の公示
- 3 月 26 日(月) 立候補締め切り、直ちに立候補者リストを代議員予定者に提示
- 4 月 2 日(月) 電磁的方法による意向選挙の投票開始
- 4 月 16 日(月) 意向選挙の投票締め切り。選挙管理委員会による選出者の確定
- 4 月 21 日(土) 理事会で、新役員候補者を代議員総会に提案し決議することを承認する。その後、代議員にその内容

を通知する。

- 5 月 30 日(水) 代議員総会において、各新役員候補者について、一人ずつ信任投票を行い、過半数を得た者を役員として選任する。

III. 審議事項

1) 第 48 回学術集会収支決算について

赤居第 48 回学術集會会長から、収支決算の報告があり、今後、公認会計士による最終的な精査の後、次回役員会に諮ることが承認された。

2) 震災対策経費収支報告

里宇理事長から、収支報告に併せて残金の使途について東北地区（太平洋側 3 県）の活動にしたいとの提案があり、審議の結果、承認された。

3) 第 49 学術集会予算書変更案について

蜂須賀第 49 回学術集會会長から、前回の理事会で承認された事前登録者参加費を若干安くした予算案について、製薬団体との協議の結果、参加費を変更したことに伴い、予算案を変更したい旨の説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

また、開催概要、50 周年記念事業カウントダウン企画及び学術集会単位申請予定一覧表の説明、報告があった。

4) 学術集会開催準備資金前払金支出申請について

里宇理事長から、蜂須賀第 49 回学術集會会長からの支出申請について、申請どおり支出したい旨説明があり、審議の結果、承認された。

5) 代議員総会等日程(案)

赤居常任理事から、代議員総会を 5 月 30 日(水)に開催し、5 月 31 日(木)に会員への報告会を開催する旨の提案があり、審議の結果、承認された。なお、しばらくはこの方法で開催することが承認された。

6) 50 周年記念事業関係

里宇理事長から、以下の報告説明があり、審議の結果、すべて承認された。

第 8 回設立 50 周年記念事業実行委員会議事録、設立 50 周年記念事業年次計画及び予算、第 50 回学術集会・50 周年記念関係日程表(案)、共催・協賛・後援候補リスト、海外招聘候補者リスト、設立 50 周年記念事業共催・協賛企画の募集（第一次募集）、50 周年記念事業企画(案)、50 周年記念事業企画案

評価シート、ポスター「動かそう 体も心も リハビリの日」、ロゴマーク公募について、リハ学会 50 周年キャッチフレーズ応募状況、さらに、記念事業実行委員会からのリハビリテーション医学白書・記念誌の出版を医歯薬出版(株)に依頼するという提案について説明があり、審議の結果、承認された。

7) リハビリテーション医学白書・50 周年記念誌委員の委嘱について

里宇理事長から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

8) 大規模災害リハビリテーション対応マニュアル策定委員会委員の追加委嘱について

里宇理事長から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

9) 平成 24 年度各種委員会・専門医会活動計画・予算調書(案)について

上月常任理事から、各委員会等からの予算調書(案)を基に作成した平成 24 年度予算案について、前年度予算との比較が説明され、予算案等の変更を 2 月中に提出いただき、3 月の理事会で最終決定することが承認された。

10) 会員の入退会について

赤居常任理事から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

11) 社会保険等委員会関係

吉永理事から、1) 診療報酬改定関係、2) 内保連関係(代表・副代表会議、運営会議)、3) 外保連関係、4) 委員会報告の説明、報告があった。

12) がんのリハビリテーション研修会について

水間常任理事から説明があり、審議の結果、本件の扱いを芳賀地方会連絡協議会議長を通して同協議会に相談することで、承認された。

13) 障害者スポーツ Web アンケートについて

朝貝理事から説明があり、審議の結果、アンケートの実施が承認された。なお、本アンケートの内容に関する意見等を 1 週間以内に申し出ることとした。

14) 研修施設の新規認定について

浅見理事から説明があり、審議の結果、原案どおり 2 施設の認定が承認された。

15) 研修施設の保留について

浅見理事から説明があり、審議の結果、原案どおり 1 施設の保留が承認された。

16) 研修施設の資格喪失について

浅見理事から説明があり、審議の結果、原案どおり 2 施設の資格喪失が承認された。

17) 指導責任者の新規認定について

浅見理事から説明があり、審議の結果、原案どおり 10 名の新規認定が承認された。

18) 細則 (2)-f 項目による生涯教育研修単位の申請について

正門理事から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

19) 専門医・認定臨床医生涯教育単位認定に関する周知事項について

正門理事から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

20) その他

① 後援・協賛について

赤居常任理事から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

IV. 報告事項

1) 各種委員会報告

平成 23 年 11 月 21 日から平成 24 年 1 月 23 日までの間に開催された各種委員会について、次の通り各担当理事から報告が行われた。

① 編集委員会	川平理事
② 評価・用語委員会	佐浦理事
③ 教育委員会	正門理事
④ 認定委員会	浅見理事
⑤ 試験問題委員会	出江理事
⑥ 関連専門職委員会	朝貝理事
⑦ 広報委員会	菅 理事
⑧ 診療ガイドライン委員会	生駒理事
⑨ システム委員会	菅 理事
⑩ データマネジメント特別委員会	赤居常任理事

2) 専門医会報告

菊地専門医会幹事長から報告があった。

関連して、専認構から専攻医の登録の協力依頼があったことについて、専門医制度対応 WG で検討願いたい旨、報告があった。

3) 細則 (2)-g 項目による生涯教育研修単位の申請について

正門理事から報告があった。

4) 全国回復期リハ病棟連絡協議会医師研修会開催報告

正門理事から報告があった。
5) 一般医家に役立つリハビリテーション医療研修会
進捗状況について
正門理事から報告があった。

以 上

日本リハビリテーション医学会 平成 23 年度第 7 回理事会 議事録

日 時：平成 24 年 3 月 17 日(土) 12 時～16 時 20 分

場 所：都市センターホテル 7F 701

構成員：理事 16 名，監事 2 名

出席者

理事長／里宇明元

常任理事／赤居正美・上月正博・水間正澄・吉永勝樹

理 事／朝貝芳美・生駒一憲・出江紳一・川平和美

佐浦隆一・菅 俊光・正門由久・水落和也

監 事／木村彰男・住田幹男

専門医会幹事長／菊地尚久

議 題

I. 報 告

1) 常任理事会報告

里宇理事長から，平成 23 年度第 9 回，10 回常任理事会の報告があった。

2) 会員現況報告について

赤居常任理事から，会員現況について報告があった。

3) 50 周年記念事業関係

里宇理事長から，50 周年記念事業の進捗状況及び製薬協コードの改定により，製薬企業による共催・協賛，海外招聘者経費の負担は従来より取扱いが厳格化している旨の報告があった。関連して，JAXA，日本体力医学会，日本整形外科学会との共同企画「宇宙医学に学ぶ健康長寿」の英文パンフレットが完成した旨，報告があった。

II. 重要審議事項

1) 平成 24 年度事業方針(案)について

里宇理事長から，平成 24 年度事業方針(案)について説明があり，審議の結果，50 周年記念事業の項目に，「リハビリテーション医学白書の出版」を追加することで，承認された。なお，さらに細部についての意見集約を行い，4 月の理事会で最終決定す

ることが承認された。

2) 平成 24 年度収支予算書(案)について

上月常任理事から説明があり，審議の結果，原案どおり承認された。関連して，ここ数年の赤字予算に加え，関連機関への負担金の支出増が見込まれることから，財政の健全化を図るため，会費の値上げ案及び学会誌の電子化による経費の削減案等について提案があり，審議の結果，具体的なシミュレーションを行ったうえで，4 月の役員会で審議し，5 月の代議員総会に諮る方向で進めることが，承認された。

III. 審議事項

1) 第 48 回学術集会収支決算について

赤居第 48 回学術集會会長から説明があり，審議の結果，承認された。

2) 平成 24 年度各種委員会・専門医会活動計画・予算調書(案)について

上月常任理事から，1 月の役員会後に修正があった委員会の活動報告・予算調書について説明があり，審議の結果，承認された。

3) 負担金の拠出について

上月常任理事から，従来の負担金に加え，平成 24 年度から日本医学会，日本リハビリテーションデータベース協議会に新規に負担金を拠出することについて説明があり，審議の結果，承認された。

4) 平成 24 年度前期各種委員会委員の委嘱・解職について

里宇理事長から説明があり，審議の結果，一部修正のうえ承認された。なお，3 月末日までに担当理事から委員候補者に内諾を得ることとした。

5) 平成 23 年度各種委員会・専門医会報告（総会資料）

赤居常任理事から説明があり，総会資料になるた

め4月5日までに修正等の申し出を受け、必要な修正を加えることで、承認された。

6) Corresponding Member の推薦について

赤居常任理事から説明があり、審議の結果、代議員総会に諮ることが、承認された。

7) 会員情報に関する規則の一部改正(案)について

赤居常任理事から説明があり、審議の結果、一部修正のうえ、会則検討委員会に付議することが、承認された。

8) 診療ガイドライン委員会協力委員の委嘱について

生駒理事から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

9) 専門医会委員委嘱関係

菊地専門医会幹事長から、①専門医会幹事選挙に関する選挙管理委員会委員の選出について、②専門医会リハ医療に必要な電子カルテ機能に関するWG委員再任について提案があり、審議の結果、承認された。

10) 専門医会幹事選挙に関する内規の一部改正(案)について

菊地専門医会幹事長から説明があり、審議の結果、会則検討委員会に付議することが、承認された。

11) 専門医会研究補助金に関する内規の一部改正(案)について

菊地専門医会幹事長から説明があり、審議の結果、会則検討委員会に付議することが、承認された。

12) 専門医会研究補助金対象者(案)について

菊地専門医会幹事長から説明があり、審議の結果、原案どおり、承認された。

13) 投稿ならびに執筆規定に関する申し合わせの一部改正(案)について

川平理事から、学会誌への投稿資格の改定案について説明があり、審議の結果、地方会における発表資格の問題、専門医受験資格における学会発表歴の認定の問題など、非常に重要な問題であることから、継続審議とすることが、承認された。

14) 第12回論文賞選考結果(平成23年度)について

川平理事から説明があり、審議の結果、原案どおり、承認された。

15) 会員の入退会について

赤居常任理事から説明があり、審議の結果、原案

どおり承認された。

16) 社会保険等委員会関係

水落理事から、①平成24年度第1回外保連総会報告、吉永理事から、①維持期リハビリテーションの評価、②平成24年度介護報酬改定について(骨子)、③平成23年第5回社会保険等委員会報告の説明があった。

17) 認定臨床医更新内規等の一部改正(案)について

上月常任理事から説明があり、審議の結果、一部修正のうえ、会則検討委員会に付議することが、承認された。

18) 専門医の認定について

上月常任理事から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

19) 認定臨床医の認定について

上月常任理事から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

20) 研修施設の新規認定について

上月常任理事から説明があり、審議の結果、原案どおり4施設の認定が承認された。

21) 指導責任者の新規認定について

上月常任理事から説明があり、審議の結果、原案どおり2名の新規認定が承認された。

22) 細則(2)-f項目による関連学会の審査について

正門理事から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

23) 細則(2)-e項目による生涯教育研修単位の申請について

正門理事から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

24) 細則(2)-f項目による生涯教育研修単位の申請について

正門理事から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

25) 病態別実践リハ医学研修会(内部障害)修了試験結果(案)について

正門理事から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

26) 平成24年度病態別実践リハ医学研修会について

正門理事から説明があり、審議の結果、経費の問題及び参加の問題などを更に検討しながら計画どおりの方向で進めることが、承認された。

27) 学術集会における医療倫理講演について

正門理事から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

28) 非会員による地方会での発表を学会誌へ掲載することについて

赤居常任理事から説明があり、審議の結果、この問題は各地方会で扱いが異なっており、地方会連絡協議会に検討を付議することが、承認された。

29) 海外研修助成候補者(案)について

赤居常任理事から説明があり、審議の結果、応募者が少ないことから応募期間を前期、後期に分けて募集する、また、表彰についても総会では行わないで、別の方法で授与するなどを更に検討しながら進めることが、承認された。

30) 海外研修特別助成 (AOCPRM) 候補者(案)について

赤居常任理事から説明があり、審議の結果、2名の対象候補者に助成することが、承認された。

31) その他

①後援・協賛について

赤居常任理事から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

IV. 報告事項

1) 各種委員会報告

平成 24 年 1 月 20 日から平成 24 年 3 月 11 日までの間に開催された各種委員会について、次の通り各担当理事から報告が行われた。

① 編集委員会	川平理事
② 教育委員会	正門理事
③ 認定委員会	
④ 試験問題委員会	出江理事
⑤ 関連機器委員会	水落理事
⑥ 国際委員会	
⑦ 診療ガイドライン委員会	生駒理事
⑧ データマネジメント特別委員会	赤居常任理事

2) 専門医会報告

菊地専門医会幹事長から報告があった。

3) 一般医家に役立つリハビリテーション医療研修会について

正門理事から報告があった。

4) 細則 (2)-g 項目による生涯教育研修単位の申請について

正門理事から報告があった。

以 上